

ト ップ ラン ナー 賞	会社名	清水建設株式会社	活動主体の名称(30字以内)  技術研究所 安全安心技術センター所長「金子 美香」
	申請部署	人事部ダイバーシティ推進室	
女性の活躍推進に資する活動の概要・要約(30字以内)	当社初の部長職として次世代を担う女性研究員の育成に努めている	活動理由・活動の背景(100字以内)	金子氏が所属する技術研究所で08年以降採用を本格化した女性研究員について、ロールモデルの必要性が高まっている。その中、家庭と研究を両立しつつ高い成果を挙げている金子氏は後進の目標となっている。
女 性 の 活 躍 推 進 に 資 す る 活 動 の 目 的 、 内 容 、 効 果	目的	<p><b>・女性研究員の育成</b> 当社初の女性部長職として自ら部下の目標になるとともに積極的な活躍支援を行っている。</p>	
	内容	<p>1) <b>当社初となる女性部長職</b>として、研究開発や論文発表に加え外部講演、マスコミ対応等を積極的に行い、女性研究員の<b>目指すべき姿を示している</b>。 2) <b>ワイガヤ屋食会</b>という育児中の女性研究員が集まり意見交換を行っているランチミーティングを協力者として支えている。各々専門分野に閉ざされがちな研究員が互いの悩みや課題を共有することが出来るよう、2016年7月から定期的開催し、様々な問題について意見交換をしている。<b>育休取得中の社員にも声を掛け</b>、情報提供を行っている。 3) 部下一人一人の個性や専門性をよく理解し、きめ細かい指導をしている。</p>	
	効果	<p>1) 金子氏は若手女性研究員にとって単に「働き続ける」ではなく「活躍する」ための<b>ロールモデルとなっており</b>、具体的な<b>キャリアイメージ</b>を持てるようになっている。 2) 育休取得中の女性研究員と悩みを共有をする事で不安感を軽減し、育休取得後の職場復帰をスムーズに行えるようにしている。このような取り組みの結果、技術研究所では、過去3年の<b>育休取得後職場復帰率が100%</b>である。 3) 部下一人一人に対する真摯な指導によるモチベーションアップを部下が実感しており、社内表彰である<b>イクボス</b>アワードに推薦を受け<b>特別賞を受賞</b>した。</p>	
		 <p>女性研究員のトップランナーとして走り続ける金子氏</p>	
		<p><b>【主な活動実績】</b></p> <p>2008年～2009年 日本地震工学会 理事 2009年～現在 文部科学省 地震調査研究推進本部 総合部会 委員</p> <p>2014年 日本建築学会賞(論文)受賞</p>	